



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月23日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東  
 コード番号 7309 URL http://www.shimano.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 廣瀬 充康 (TEL) 072-223-3254  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	253,923	3.2	47,816	2.7	54,819	35.2	40,012	42.4
29年12月期第3四半期	245,969	1.8	46,550	△4.0	40,556	△18.6	28,104	△23.7

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 33,057百万円(△9.6%) 29年12月期第3四半期 36,552百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	431.63	—
29年12月期第3四半期	303.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	501,213	449,140	89.6
29年12月期	488,770	430,465	88.0

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 449,014百万円 29年12月期 430,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	77.50	—	77.50	155.00
30年12月期	—	77.50	—		
30年12月期(予想)				77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	345,000	2.7	64,500	0.2	71,500	28.3	52,300	36.0	564.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年12月期3Q	92,720,000株	29年12月期	92,720,000株
30年12月期3Q	18,126株	29年12月期	17,276株
30年12月期3Q	92,702,318株	29年12月期3Q	92,702,958株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におきましては、欧州では、雇用・所得環境の改善が個人消費を下支えする格好で緩やかな景気拡大が続きました。米国では、業況の堅調さを背景とした良好な企業の景況感、雇用環境の改善や所得税減税政策を背景とした好調な消費者マインドに後押しされ、景気は順調に拡大しました。国内では、輸出・生産活動は豪雨等災害の影響もあり弱含んだものの、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しが継続しており全体として緩やかな景気の回復基調が持続しました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は253,923百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は47,816百万円(前年同期比2.7%増)、経常利益は54,819百万円(前年同期比35.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は40,012百万円(前年同期比42.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 自転車部品

欧州市場では、安定した天候が夏季においても継続し、完成車の店頭販売はスポーツE-BIKE(電動アシストバイク)を中心に全般的に好調な状況が続きました。市場在庫は適正な範囲であるものやや低めに推移しました。

北米市場では、完成車の店頭販売は例年並みに推移し、市場在庫についても適正な水準を保ちました。

中国市場では、完成車の店頭販売は依然として力強さを欠き、中低価格帯を中心に低調な販売が続きました。一方、調整期を迎えたシェアバイクの市場への新規投入台数は落ち着きを見せ市場在庫は適正に推移しました。

他の新興国市場では、東南アジア市場では、完成車の店頭販売はインドネシアでは回復傾向が見られるものの市場全体では力強さを欠きました。南米市場では、通貨安や政情不安の影響が続くブラジル・アルゼンチンで消費に陰りが出て来ました。ともに市場在庫は適正水準を保ちました。

日本市場では、年初から続く天候不順の影響もありスポーツタイプ自転車及び軽快車の店頭販売は振るわずに推移しましたが、電動アシスト車全体の販売は伸び特にスポーツE-BIKEへの注目度が増しました。また市場在庫は適正な範囲で推移しました。

このような市況のもと、高級ロードコンポーネントの一翼を担う新製品105シリーズは好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は199,961百万円(前年同期比2.2%増)、営業利益は41,052百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

## ② 釣具

日本市場では、夏以降の大雨・台風等の影響もあり、小売業販売は低調に推移しました。海外市場において、北米市場では、東海岸で発生したハリケーンによる影響は少なからずあったものの順調な景気拡大に支えられ販売は引き続き堅調となり、流通在庫も適正な水準で推移しました。欧州市場では、販売は堅調さを取戻しつつあるものの主要市場のひとつであるイギリスにおける流通在庫は高めで推移しました。アジア市場では、スポーツフィッシング人気のさらなる高まりに牽引され販売は引き続き好調でした。豪州市場では、恵まれた天候が続いたことで市場は活況となり販売は堅調なものとなりました。

このような市況のもと、日本では引き続き好評のルアー関連新製品の寄与もあり売上は前年を上回りました。海外では、特に北米市場においては新製品のベイトリール「Curado DC」に高い評価をいただき売上は前年を上回りました。欧州市場及び豪州市場の売上は前年並となり北米市場同様にアジア市場の売上が前年を上回ったことから海外全体の売上は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は53,699百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は6,827百万円(前年同期比24.7%増)となりました。

## ③ その他

当セグメントの売上高は263百万円(前年同期比7.4%減)、営業損失は63百万円(前年同期は営業損失32百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産・負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は501,213百万円(前連結会計年度比12,443百万円の増加)となりました。これは、建設仮勘定が5,637百万円、現金及び預金が4,422百万円、商品及び製品が4,009百万円、仕掛品が3,789百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が3,191百万円、機械装置及び運搬具が2,575百万円、建物及び構築物が1,414百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は52,073百万円(前連結会計年度比6,230百万円の減少)となりました。これは、火災損失引当金が1,400百万円、賞与引当金が1,090百万円それぞれ増加し、未払法人税等が4,306百万円、短期借入金が2,182百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は449,140百万円(前連結会計年度比18,674百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が25,643百万円増加し、為替換算調整勘定が6,589百万円減少したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間においてドル高の進行に伴い相対的にアジア通貨安となったことから営業外収益が発生したこと、また受注好調な製品に対する供給力が不足し納期の正常化が来期以降に持ち越されることを踏まえ、次のとおり変更いたします。

平成30年12月期 通期連結業績予想数値の変更 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	350,000	67,000	70,900	49,300	531.81
今回修正予想 (B)	345,000	64,500	71,500	52,300	564.17
増減額 (B-A)	△5,000	△2,500	600	3,000	
増減率 (%)	△1.4	△3.7	0.8	6.1	
前期実績 (平成29年12月期)	335,800	64,351	55,748	38,443	414.69

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	241,268	245,690
受取手形及び売掛金	35,574	32,383
商品及び製品	33,820	37,830
仕掛品	19,131	22,920
原材料及び貯蔵品	4,650	4,789
繰延税金資産	3,080	2,704
その他	5,640	7,910
貸倒引当金	△370	△236
流動資産合計	342,795	353,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,229	58,814
機械装置及び運搬具(純額)	24,564	21,989
土地	13,890	13,737
リース資産(純額)	62	51
建設仮勘定	4,823	10,461
その他(純額)	6,240	6,113
有形固定資産合計	109,810	111,167
無形固定資産		
のれん	5,388	4,941
ソフトウェア	6,668	6,258
その他	3,968	3,687
無形固定資産合計	16,025	14,887
投資その他の資産		
投資有価証券	15,029	14,365
繰延税金資産	2,603	2,952
その他	3,009	4,400
貸倒引当金	△504	△551
投資その他の資産合計	20,138	21,166
固定資産合計	145,974	147,221
資産合計	488,770	501,213

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,036	13,030
短期借入金	7,571	5,388
未払法人税等	8,696	4,389
繰延税金負債	46	69
賞与引当金	1,976	3,067
役員賞与引当金	181	150
火災損失引当金	—	1,400
その他	17,818	16,298
流動負債合計	49,327	43,794
固定負債		
長期借入金	1,009	617
繰延税金負債	646	576
退職給付に係る負債	4,060	3,821
その他	3,260	3,262
固定負債合計	8,976	8,279
負債合計	58,304	52,073
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,642	5,642
利益剰余金	371,914	397,558
自己株式	△102	△116
株主資本合計	413,066	438,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,374	4,034
為替換算調整勘定	12,872	6,283
その他の包括利益累計額合計	17,246	10,318
非支配株主持分	152	125
純資産合計	430,465	449,140
負債純資産合計	488,770	501,213

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	245,969	253,923
売上原価	144,444	153,550
売上総利益	101,524	100,373
販売費及び一般管理費	54,974	52,556
営業利益	46,550	47,816
営業外収益		
受取利息	1,492	2,571
受取配当金	315	596
為替差益	—	3,203
その他	244	1,804
営業外収益合計	2,052	8,175
営業外費用		
支払利息	129	153
為替差損	7,253	—
その他	663	1,018
営業外費用合計	8,046	1,172
経常利益	40,556	54,819
特別利益		
受取保険金	—	16
特別利益合計	—	16
特別損失		
工場建替関連費用	455	73
火災損失	—	2,110
特別損失合計	455	2,184
税金等調整前四半期純利益	40,100	52,651
法人税、住民税及び事業税	14,152	12,558
法人税等調整額	△2,185	89
法人税等合計	11,967	12,648
四半期純利益	28,133	40,003
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	29	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,104	40,012



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	28,133	40,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	△339
為替換算調整勘定	8,163	△6,606
その他の包括利益合計	8,418	△6,946
四半期包括利益	36,552	33,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,538	33,084
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△26

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社のShimano Europe Holding B.V.を存続会社として、連結子会社のShimano Europe B.V.、Shimano Europe Fishing Holding B.V.及びBikefitting.com B.V.を合併したため、Shimano Europe B.V.、Shimano Europe Fishing Holding B.V.及びBikefitting.com B.V.を連結の範囲から除外しております。なお、Shimano Europe Holding B.V.はShimano Europe B.V.に社名を変更しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、Shimano Argentina S.A.U.については新規設立により連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	195,626	50,058	284	245,969	—	245,969
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	195,626	50,058	284	245,969	—	245,969
セグメント利益又は損失(△)	41,105	5,476	△32	46,550	—	46,550

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	199,961	53,699	263	253,923	—	253,923
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	199,961	53,699	263	253,923	—	253,923
セグメント利益又は損失(△)	41,052	6,827	△63	47,816	—	47,816

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。